

(別紙)

田植えの進捗状況（5月10日現在概況速報）について

中央農業改良普及センター県域普及グループ

各農業改良普及センターでは5月10日現在の田植えの進捗状況について一斉調査を実施しました。調査の結果及び栽培管理のポイントは以下のとおりです。

- 1 5月10日現在、県全体の田植え進捗率は12%である。
- 2 地帯別では、北上川下流が16%、東部が14%であり、過去4年と比較するとやや遅いペースである。北上川上流及び北部では5月14日頃から田植えが本格化してくる見込み。
- 3 耕起・代かき等の田植え前作業と田植え作業が順次行われており、田植えは概ね適期に行われると見込まれる。

表1 地帯別田植えの進捗状況（5月10日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	同時期					田植え時期（月／日）		
	進捗率（%）					平年値		
	本年	H27	H26	H25	H24	始期	盛期	終期
北上川上流	2	5	0	0	0	5/16	5/20	5/26
北上川下流	16	40	32	28	7	5/11	5/15	5/21
東部	14	30	18	28	6	5/12	5/16	5/22
北部	0	0	0	0	0	5/19	5/23	5/27
県全体	12	30	22	20	5	5/13	5/17	5/23

注) 1. 平年値は平成18年～27年の10カ年の平均値

2. 始期：10%終了、盛期：50%終了、終期：90%終了

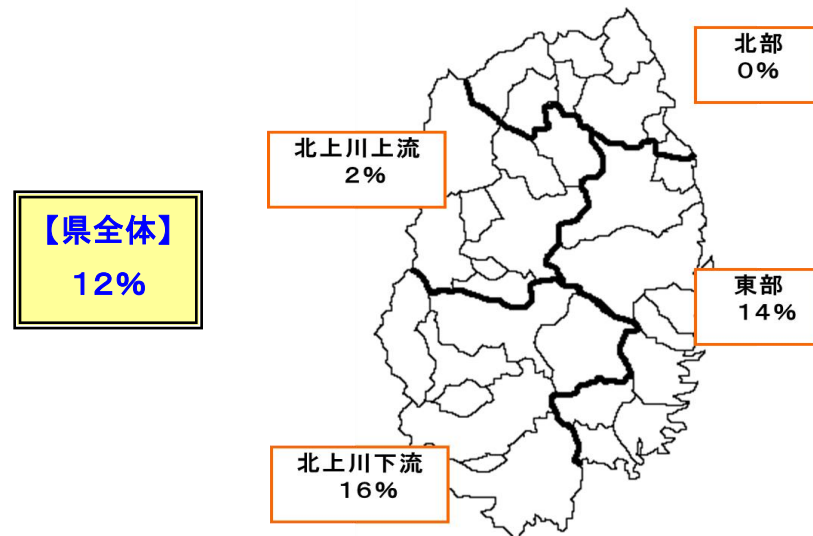


図1 地帯別田植え進捗率（5月10日現在：各農業改良普及センター調べ）

4 栽培管理のポイント

(1) 田植えは、寒い日や風雨の日を避けてできるだけ暖かい日に行うこと。

※県内の田植え適期・・・県南部：5月10日～20日頃、その他の地域：5月15日～25日頃

(2) 田植え直後は、植え傷みにより苗の吸水力が低下するので、やや深めの水管理（葉先が2～3cm水面から出る程度）とし、水温の確保に努めること。

(3) 入水は、気温と水温の温度差が少ない朝方や夕方に行い、日中はなるべく水を動かさないこと。

(4) 気温が15℃以下の時は、葉先が出る程度の深水管理とするが、低温でも日照があり風のない日は、日中は浅水にして水温の上昇をはかること。